dataTAMA データ多摩 ●vol.32

多摩30市町村の近年の人口増減の傾向、高齢化率、（参考）社人研推計とのズレ

国勢調査より

まず、基本的なこととして、前回に引き続き、2015年の国勢調査のデータをもとに、最新の人口データを見ていきたいと思います。最新の2015年国勢調査の人口（B）と、2010年の人口（A）をもとに、人口増加率が計算されています（D）。このデータ、つまり2010年から2015年の人口増加率の高い順番に多摩30市町村を並べたのが、表の順番になっています。1位が日の出町、2位が武蔵野市、以下、30位が檜原村という順番で並んでいます。ここで、重要な数値の説明をしておきます。

2010年から2015年の人口増加率（D）を見ると、多摩の30市町村のうち、18位の東久留米市までが増加、それ以下の12市町村が減少という状況にあります。2005年から2010年までの人口増加率である（C）では、30市町村中25市町が人口増（5市町村が人口減）でした。それにくらべて、人口減少の自治体がはっきりと増えていることがわかります。

おまけに、人口増加率の変化（D-C）を見ると、30市町村のうち23市町村がマイナスになっているのが現実です。つまり、人口増加の18市町を見ても、13市の増加率が、「2005→2010」（C）に比べて「2010→2015」（D）において落ちているのが現状である、ということを意味します。これを考えても、全国における人口減少の傾向は、都心に近い多摩地域においてもはっきりと表れている、ということがわかります。

（参考）社人研推計について

2014年に、「増田レポート」が各自治体関係者や、地方自治に関心のある人々に衝撃を与えました。元総務大臣・岩手県知事、増田寛也氏が座長を務める民間の組織、日本創生会議・人口減少問題検討分科会が公表したレポート「消滅する市町村523全リスト」「提言　ストップ『人口減少社会』」（『中央公論』2014年6月号）です。そのレポートの元データになったのが、ここで挙げている社人研（国立社会保障・人口問題研究所）による「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」です。「増田レポート」に用いられている日本創成会議の推計は、社人研の推計とは人口移動の想定にズレがあるので推計結果が異なりますが、ここではさしあたり一般的な数値として、社人研推計のうち、出生中位・死亡中位仮定とされている、いわばいくつかの推計のうち中位（標準的）とされているデータを紹介しています（E）。

ここで社人研推計を取り上げているのにはいくつかの理由があります。一つは、増田レ

ポートも含めて、あくまで推計に過ぎないデータに（といっても、確かに一定の根拠のあるデータではありますが）、多くの地方自治体が大きく振り回されて来たのが、ここ数年の現実だからです。しかも、あたかも推計をもとにした増田レポートを受けるかのようにして、ひと・まち・しごと創生法（いわゆる地方創生法）が制定されており、官僚の政策的意図と増田氏の動きが関係しているのではないか、ということが、小田切徳美編『農山村再生に挑む ―理論から実践まで―』（岩波書店、2013年）などで指摘されてきています。もっとも、増田レポートと現場の官僚との動きの間にはズレがある、という指摘も、山下祐介『地方消滅の罠』（ちくま新書、2014年）ではなされており、これはこれで重要な指摘です。

もう一つ重要な問題は、増田レポートが基本的に参照している社人研の推計が、2013年に出された推計でありながら、2010年の国勢調査のデータをもとに計算したものである点です。これはまた次回以降のデータ多摩でも扱う予定ですが、多摩30市町村が、「ひと・まち・しごと創生法」に基づいて作成した「人口ビジョン」が、2015年度に作られているにもかかわらず、2010年のデータをもとにした社人研や日本創生会議といった、全国レベルで動いている組織の推計値を参照しているケースもあります。5年に一度の国勢調査は正確なデータではありますが、より細かな時間の動きをもとに各市町村が作成している住民基本台帳も正確なデータです。そうしたより細かな時間軸を反映しているデータを用いて計算したほうが、本来は推計の確度は高くなります。

国勢調査を基本に推計値を出すということは、時間的に大雑把なデータを用いる結果、近年取られた移住政策等の成果が出ていても、それが十分に推計値に反映されないという問題も出てしまいます。ですから、2005→2010年の人口増加率（D）で、大規模開発による著しい数値（10.91％）が記録された稲城市のような自治体では、その極端な動きを前提とした推計によって、“これからも人口が伸びる”ということになってしまい、実数とのズレが大きくなってしまっているわけです（B－E）。一般的に大規模開発のあとの自治体はその後の推計も高くなりがちですので、大雑把な推計においては注意が必要です。

また、東京都の場合は影響が少ないものの、社人研推計は平成の大合併によって巨大化した自治体レベルでの数値をもとにしているので、地域ごとの人口の変化の特性を十分に反映していないという問題もあります。こうした点は、過疎の代表と言われる島根県の「田舎の田舎」で人口回帰が始まっている傾向が軽視されてしまう、という点なども含め、島根県中山間地域研究センター研究統括監の藤山浩が、人口推計において社人研推計や増田レポートが前提となっている現状に警鐘を鳴らしています（藤山『田園回帰１％戦略　地元に人と仕事を取り戻す』農文協、2015年）。

いずれにせよ、この「データの（時間的な）大雑把さと古さ」そして「地域の捉え方の大雑把さ」がもたらす問題は、多摩地域にも共有できる問題であり、2013年に出された社人研推計による2015年の各市町村人口推計と、国勢調査の実測値を見ることで、推計値の持つ限界を示すことになると思い、今回、「実数－（社人研の）予想」（B－E）という数値を出しました。

高齢化率

各自治体の2010年と2015年の高齢人口割合（総人口に対する65歳以上の人口の割合）を、表の右側に示しました。2015年の数値を考えたときに、全国（26.64％）より高いのは、日の出町、清瀬市、あきる野市、東久留米市、青梅市、福生市、奥多摩町、檜原村の8市町村です。対して、東京都全体（22.67％）よ

りも低いのは、武蔵野市など9市でした。

高齢化率を考えるときに、「2010→2015高齢化率の変化」（G－F）を見ると顕著なのは、日の出町が特殊な状況にあることでしょう。つまり、近年の人口増加率が4.78％と30市町村の中でトップであるのと同時に、高齢化率の変化（G－F）も、奥多摩町に次いで高く、非常に高い数値を示していることです。つまり、現在の日の出町の人口増加は、高齢者がほかの自治体から流入していることで実現されているということが考えられます。そして、あくまでこの日の出町の動きが「特殊」であるのは、高齢化率の変化（G－F）が高い、さしあたり、4ポイント以上の自治体が、瑞穂、八王子、昭島、多摩、青梅、羽村、福生、奥多摩と、日の出以外は2010年から2015年の人口増加率がいずれもマイナスになっていることからも明らかです。つまり、多摩地域の自治体において、現時点において高齢化率が顕著に上昇している自治体は、日の出町を除けば、人口減少を伴っている、ということがわかります。

※実人口および人口増加率、高齢化率については、当該年度の国勢調査のデータを利用。社人研推計（E）については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」を用いた。他は、以上をもとに算出した。

表　多摩30市町村の近年の人口増減の傾向、高齢化率、（参考）社人研推計とのズレ

		国勢調査による実人口			増減実数
増加率（D）の順	団体など	2005年	2010年	2015年	2010→2015
			A	B	B－A
		人	人	人	人
1	日の出町	15,941	16,650	17,446	796
2	武蔵野市	137,525	138,734	144,730	5,996
3	日野市	176,538	180,052	186,283	6,231
4	稲城市	76,492	84,835	87,636	2,801
5	東大和市	79,353	83,068	85,157	2,089
6	調布市	216,119	223,593	229,061	5,468
7	小金井市	114,112	118,852	121,396	2,544
8	狛江市	78,319	78,751	80,249	1,498
9	府中市	245,623	255,506	260,274	4,768
10	西東京市	189,735	196,511	200,012	3,501
11	国分寺市	117,604	120,650	122,742	2,092
12	武蔵村山市	66,553	70,053	71,229	1,176
13	小平市	183,796	187,035	190,005	2,970
14	町田市	405,534	426,987	432,348	5,361
15	清瀬市	73,529	74,104	74,864	760
16	三鷹市	177,016	186,083	186,936	853
17	あきる野市	79,587	80,868	80,954	86
18	東久留米市	115,330	116,546	116,632	86
19	瑞穂町	33,691	33,497	33,445	△ 52
20	八王子市	560,012	580,053	577,513	△ 2,540
21	昭島市	110,143	112,297	111,539	△ 758
22	多摩市	145,877	147,648	146,631	△ 1,017
23	青梅市	142,354	139,339	137,381	△ 1,958
24	立川市	172,566	179,668	176,295	△ 3,373
25	羽村市	56,514	57,032	55,833	△ 1,199
26	福生市	61,074	59,796	58,395	△ 1,401
27	東村山市	144,929	153,557	149,956	△ 3,601
28	国立市	72,667	75,510	73,655	△ 1,855
29	奥多摩町	6,741	6,045	5,234	△ 811
30	檜原村	2,930	2,558	2,209	△ 349
多摩30市町村計		4,058,204	4,185,878	4,216,040	30,162
23区計		8,489,653	8,945,695	9,272,740	327,045
東京都島しょ部		28,744	27,815	26,491	△ 1,324
東京都総計		12,576,601	13,159,388	13,515,271	355,883
全国		127,767,994	128,057,352	127,094,745	△962,607

人口増加率			（参考）社人研推計			高齢化率			
2005→2010	2010→2015	増加率の変化	2015年	実数－予測	実数（B）に対するズレ（B－E）の割合	2010年	2015年	2010→2015 高齢化率の変化	
C	D	D－C	E	B－E		F	G	G－F	
%	%		人	人	%	%	%		
4.45	4.78	0.33	16,512	934	5.35	29.28	36.11	6.83	日の出町
0.88	4.32	3.44	138,446	6,284	4.34	19.66	21.67	2.00	武蔵野市
1.99	3.46	1.47	181,731	4,552	2.44	20.83	23.83	3.00	日野市
10.91	3.30	△ 7.61	88,882	△ 1,246	△ 1.42	17.37	20.84	3.47	稲城市
4.68	2.51	△ 2.17	84,936	221	0.26	21.78	25.35	3.57	東大和市
3.46	2.45	△ 1.01	227,546	1,515	0.66	19.00	21.24	2.24	調布市
4.15	2.14	△ 2.01	121,839	△ 443	△ 0.36	18.69	20.34	1.65	小金井市
0.55	1.90	1.35	78,283	1,966	2.45	21.80	24.11	2.30	狛江市
4.02	1.87	△ 2.16	260,983	△ 709	△ 0.27	18.24	20.78	2.54	府中市
3.57	1.78	△ 1.79	200,016	△ 4	△ 0.00	20.34	23.23	2.89	西東京市
2.59	1.73	△ 0.86	123,079	△ 337	△ 0.27	18.98	21.22	2.24	国分寺市
5.26	1.68	△ 3.58	69,411	1,818	2.55	20.83	24.84	4.01	武蔵村山市
1.76	1.59	△ 0.17	187,930	2,075	1.09	20.15	22.38	2.23	小平市
5.29	1.26	△ 4.03	438,710	△ 6,362	△ 1.47	21.67	25.58	3.92	町田市
0.78	1.03	0.24	73,782	1,082	1.45	24.88	27.87	2.99	清瀬市
5.12	0.46	△ 4.66	191,839	△ 4,903	△ 2.62	18.69	21.17	2.49	三鷹市
1.61	0.11	△ 1.50	80,518	436	0.54	23.79	28.04	4.25	あきる野市
1.05	0.07	△ 0.98	116,115	517	0.44	23.48	26.89	3.41	東久留米市
△ 0.58	△ 0.16	0.42	32,920	525	1.57	21.13	26.18	5.05	瑞穂町
3.58	△ 0.44	△ 4.02	589,857	△ 12,344	△ 2.14	20.78	25.03	4.25	八王子市
1.96	△ 0.67	△ 2.63	112,394	△ 855	△ 0.77	20.72	24.74	4.01	昭島市
1.21	△ 0.69	△ 1.90	148,075	△ 1,444	△ 0.98	20.93	26.52	5.59	多摩市
△ 2.12	△ 1.41	0.71	135,129	2,252	1.64	23.17	28.14	4.97	青梅市
4.12	△ 1.88	△ 5.99	181,826	△ 5,531	△ 3.14	21.39	25.06	3.67	立川市
0.92	△ 2.10	△ 3.02	56,963	△ 1,130	△ 2.02	19.58	24.06	4.48	羽村市
△ 2.09	△ 2.34	△ 0.25	58,004	391	0.67	20.51	27.00	6.49	福生市
5.95	△ 2.35	△ 8.30	158,037	△ 8,081	△ 5.39	22.44	25.82	3.38	東村山市
3.91	△ 2.46	△ 6.37	77,011	△ 3,356	△ 4.56	19.17	22.09	2.92	国立市
△ 10.32	△ 13.42	△ 3.09	5,248	△ 14	△ 0.27	41.32	48.20	6.88	奥多摩町
△ 12.70	△ 13.64	△ 0.95	2,286	△ 77	△ 3.49	43.39	47.08	3.69	檜原村
3.15	0.72	△ 2.43	4,238,308	△ 22,268	△ 0.53	20.60	24.11	3.51	多摩30市町村計
5.37	3.66	△ 1.72	9,084,451	188,289	2.03	20.18	21.98	1.80	23区計
△ 3.23	△ 4.76	△ 1.53	26,694	△ 203	△ 0.77	29.37	32.52	3.15	東京都島しょ部
4.63	2.70	△ 1.93	13,349,453	165,818	1.23	20.37	22.67	2.30	東京都総計
0.27	△0.75	△1.02	約12659万	約497万	3.91	23.01	26.64	3.63	全国